

幼小中一貫校づくりに関するQ&A④

平成27年9月25日発行

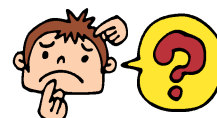
このQ&Aが発行される頃には、福部地域幼小中一貫校の名称が正式に決まっているはずですが、それに合わせて学園章、学園歌の公募も始まります。たくさんのご応募をお待ちしています。

さて、今回は「幼小中一貫教育」における、「幼稚園」に関する内容についてお答えします。



Q1 幼小中一貫校開校にあたって

幼稚園の「保育」環境はどうなるの？



A1 幼小中一貫校開校が話題に上ってから、保護者、特にお子さんが幼稚園・保育園在園の方から「保育」環境に関する不安の声が聞かれました。その一つが、「幼小中一貫校になったら、現在行われている早朝保育、延長保育、休日保育はどうなるのだろうか？」「もし早朝保育、延長保育、休日保育がなくなるということになれば大変困った状況になる。」といったものでした。4月に実施したすなっこ園保護者アンケートにも、そのことが顕著に表れていました。

アンケート結果や保護者の皆様からの要望をもとに、啓発部会を中心に、鳥取市教育委員会に幼稚園の保育ニーズについての検討をお願いしてきました。

その結果、7月10日（金）にすなっこ園で開催しました「幼小中一貫校に関する説明会」の際に、市教育委員会より以下のような回答がありました。当日ご参加いただけなかった方もおられますので、再度確認いたします。

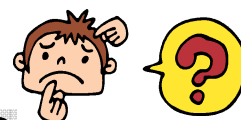
○現在すなっこ園で行っている7時から19時までの「早朝保育」「延長保育」、土曜日や夏休みなどの長期休業日に実施している「休日保育」は現状のまま維持していきます。

○幼稚園における4時間の保育・教育時間については、小学校との連携を図りながら、「担任」が責任をもって必要な教育を行っていきます。

このことは、福部地域がめざす「幼小中一貫教育」を具体的に進めていくために、行政（市教育委員会・児童家庭課等）が、配慮と努力をしてくださった結果であることも、しっかりと受け止めておく必要があります。

Q2 せっかく一緒になったのに

どうして「保幼小中」ではないの？



A2 確かに「幼稚園」も「保育園」も、小学校に通う前の子どもたちが通うところですが、それぞれに次のような違いがあります。

大きな違いは、「幼稚園」は小学校入学前の子どものための「教育施設」であり、これに対して「保育園（保育所）」は乳幼児を保護者に代わって預かる「児童福祉施設」であ

ることです。そのため、幼稚園の管轄は小中学校と同じ「文部科学省」、保育園の管轄は「厚生労働省」となっており、それぞれの設立の目的が大きく異なっています。

また、その目的の違いによって、職員の設置人数も異なり、特に保育園は、保育される乳幼児の年齢により設定されていることも大きな違いです。その他にも以下のような違いがあります。

【保育対象（年齢）】

幼稚園の場合は、3歳になった春から小学校入学までが対象になります。保育園の場合は、保護者の事情により保育を必要とする0歳児から、小学校入学前までが対象となります。

【保育・教育時間（標準）】

幼稚園の場合は、日中が中心です。保育園の場合は、朝夕を含め保育時間が長く取られているという特徴があります。

具体的に言うと、一般的な幼稚園の場合の保育・教育時間は、9時から14時くらいまで（延長保育を行わない場合）です。1日の保育・教育時間は4時間です。（A1の中にある「4時間の保育・教育時間」はここからきています。）

保育園の場合、7時から19時くらいまでです。1日の標準保育・教育時間は原則「11時間」となっています。

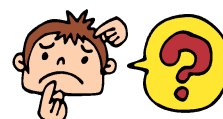
【先生の必要免許】

幼稚園の場合は、「幼稚園教諭免許状」が必要となります。保育園の場合は、「保育士資格証明書」が必要となります。

簡単に言うと、幼稚園は教諭免許が必要な「教諭」で、保育園は国家試験を受けて「保育士」という資格を得るといった違いがあるということです。当然、保育士という立場で幼稚園の教諭をすることはできません。「幼稚園」は教諭、「保育園」は保育士と、それぞれがスペシャリストとして保育・教育に携わっているのです。

確かに最近では、幼稚園と保育園の特徴を併せ持つ、複合型保育施設（認定こども園も増え、また「すなっこ園」のような施設一体型のものもあります。しかし、本来幼稚園と保育園には上記のような違いがあるということも覚えておいていただければと思います。

Q3 保育園と幼稚園の連携はどうなるの？



A3 以前より福部地域では「福部の子（宝）は福部でしっかりと育てる」という考えのもと、「0歳から15歳まで」という15年間のスパンで子どもたちの教育に当たってきています。その基本的な考え方は、「幼小中一貫教育」においても変わることはありません。昨年度、福部町教育研究会が発行した「学びの手引き」においても、「0歳から15歳まで」の子育て・教育を扱った内容になっています。

管轄や制度上の理由ももちろんありますが、子どもたちの成長を「教育」という視点で考えた場合、小学校入学前の子どもたちのための「幼稚園」としての役割・教育内容を重視し、「幼小中」というくくりで考えていくことがまず必要であると考えました。したがって、施設面についても、「施設一体型校舎」をめざし、また十分な保育・教育環境を確保するためにも、現小中学校の間の校庭に幼稚園を移設したいと考えています。全国でもあまり例のない「幼小中一貫教育」を着実に推進していく中で、「保育園」との連携についてもしっかりと考えていきたいと思えます。

文責：幼小中一貫校推進委員会啓発部会 長石 彰(福部中学校教頭)